

草笛光子 生誕九十年 記念映画

# めでたい何かが九十歳。

うしろさ  
うしろさ  
うしろさ

6.20

あなたの悩みも  
“一笑両断”

草笛光子

唐沢寿明 / 藤間爽子 片岡千之助 中島瑠菜  
オダギリジョー 清水ミチコ LiLiCo 宮野真守 石田ひかり 三谷幸喜  
木村多江 真矢ミキ

企画・プロデュース：岡田有正 企画：古賀誠一 石塚慶生 プロデューサー：近藤あゆみ 山田大作

原作：佐藤愛子「九十歳、何がめでたい」/「九十八歳、戦いやまじ日は暮れず」(小学館刊)

監督：前田哲 脚本：大島里美 音楽：富貴晴美

主題歌：「チーズ」木村カエラ (ELA / Victor Entertainment)

撮影：山本美夫(ピコピコ) 照明：小野宮 録音：加藤大樹 美術：安部真人 装飾：松田光幸 衣裳：浅花みづ 市原未来(草笛光子) ヘアメイク：宮内三千代 中国マツ子(草笛光子)  
音楽プロデューサー：溝口大祐 音楽統括：小野宮 音楽効果：アタリエエフェクト(小島彰(ひさし)) スクリプター：杉本友美 録音効果：豊田隆 船監督：久保裕洋 制作担当：由島啓次  
製作：2024映画「九十歳、何がめでたい」製作委員会 制作プロダクション：スタジオアール 配給：松竹

©2024映画「九十歳、何がめでたい」製作委員会 ©佐藤愛子/小学館

国民的エッセイ  
誕生までの

笑いと共に感の痛快エンターテインメント!

シリーズ累計180万部 佐藤愛子の大人気エッセイが映画化！  
生きづらい世の中を**“一笑両断”**！  
人生100年時代に贈る、前向きになれる痛快エンターテインメント！



## INTRODUCTION

齒に衣着せぬ物言いで人気の直木賞作家・佐藤愛子。2023年に100歳を迎えた彼女のベストセラー・エッセイ集『九十歳。何がめでたい』『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』を原作に、90歳を迎えた草笛光子がエネルギッシュかつチャーミングに等身大の佐藤愛子を熱演し、映画化！彼女を支える頑固な中年編集者・吉川真也役に唐沢寿明、愛子の娘・響子役に真矢ミキ、さらに豪華キャストとゲストが多数登場！映画『老後の資金がありません！』で老若男女の共感呼んだ前田哲監督がメガホンを取り、笑いと共に共感の痛快エンターテインメントをお届けします！

## STORY

断筆宣言をした90歳の作家・佐藤愛子(草笛光子)は、新聞やテレビをぼうっと眺める鬱々とした日々を過ごしていた。同じ家の2階に暮らす娘・響子(真矢ミキ)や孫・桃子(藤間爽子)には、愛子の孤独な気持ちは伝わらない。同じ頃、大手出版社に勤める中年編集者・吉川真也(唐沢寿明)は、昭和気質なコミュニケーションがパワハラ、セクハラだと問題となり、謹慎処分。妻や娘にも愛想を尽かされ、仕事にプライベートに悶々とする日々。そんなある日、吉川の所属する編集部では愛子の連載エッセイ企画が持ち上がり、吉川が愛子を口説き落として、晴れて担当編集に！  
このふたりの出会いが、新たな人生を切り開く——？！

出演：草笛光子、唐沢寿明、藤間爽子、片岡千之助、中島瑠菜、オダギリジョー、清水ミチコ、LiLiCo、宮野真守、石田ひかり、三谷幸喜、木村多江、真矢ミキ  
企画・プロデュース：岡田有正 企画：古賀誠一、石塚慶生 プロデューサー：近藤あゆみ、山田大作 原作：佐藤愛子『九十歳。何がめでたい』『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』(小学館刊)  
監督：前田哲 脚本：大島里美 音楽：富高晴美 主題歌：「チーズ」木村カエラ(ELA/Victor Entertainment) 配給：松竹 © 2024 映画「九十歳。何がめでたい」製作委員会 © 佐藤愛子／小学館

## 映画『九十歳。何がめでたい』 本山町上映会 (99分)

日時 2025年 6月20日(金) ①14:30開場 上映：15:00～16:39  
②18:00開場 上映：18:30～20:09

会場 本山町プラチナセンター 文化ホール (高知県長岡郡本山町本山569-1)

鑑賞料 前売券1,200円 / 当日券1,500円 (※一般・シニア・大学生は同額です) 小中高生は当日のみ 800円

【前売券販売所】 森文具RABO・ほっと・大原文学館・本山町プラチナセンター ※ 未就学児無料

主催 本山町プラチナセンター 共催 嶺北映画クラブ お問い合わせ 本山町プラチナセンター (0887-76-2084)